

3年生

月	単元名・教科名・時数・指導目標	評価観点	評価方法
		A 十分満足できる B おおむね満足できる	テスト ノート 発表
	【知・技】 テスト95点以上 数量や図形について深く理解し、計算や測定、作図の技能を十分に身に付けている。	テスト70点以上 数量や図形について理解し、計算や測定、作図の技能を身に付けている。	テスト ノート
	【思・科・美】 身の回りにおける数量の問題について、見過しをもつて既習事項をもとに筋道を立てて考察し、表現している。	身の回りにおける数量の問題について、見過しをもつて筋道を立てて考え、表現している。	テスト ノート 発表
	【協】 数量や図形の学習にすんで取り組み、積極的に発言したりしている。また、学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	数量や図形の学習にすんで取り組み、学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	ノート 発表
4月	1. 九九を見なおそう【かけ算】 8時間 ・九九に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め、九九の範囲を超える乗法の計算方法を考え、図や式などを用いて考え、表現している。 ・九九の範囲を超える乗法の計算方法について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・九九の範囲を超える乗法計算をする方法がわかる。 【思・科・美】 ・九九の範囲を超える乗法の計算方法について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【協】 ・九九の範囲を超える乗法の計算方法について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	2. 時とくわりのもとめ方を考えよう【時とくわりのもとめ方】 4時間 ・秒について知り、時刻に関する理解を深めるとともに、数学的表現を適切に用いて時刻や時刻の求め方を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・秒について知り、ほかの時刻の単位との関係を理解するとともに、時刻や時刻を求めることができる。 【思・科・美】 ・時刻の単位に着目し、時刻を既習の量と統合的にとらえるとともに、図などを用いて時刻や時刻の求め方を考え、説明している。 ・時刻や時刻に着目し、数学的に表現し、整理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	3. 同じ値を持つ分けるときの計算を考えよう【わり算】 9時間 ・除法の意味について理解し、乗法九九1回適用の除法計算の仕方を図や式を用いて考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・除法が用いられる場合や除法と乗法などの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をする方法がわかる。 【思・科・美】 ・数量の関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合してとらえるとともに、具体物や図、式を用いて除法の仕方を考え、説明している。 【協】 ・除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	4. 大きい数の筆算を考えよう【たし算とひき算の筆算】 7時間 ・3～4位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身に付け、既習の数の構成や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・3～4位数の加減法の筆算は、2位数などの基本的な加減法の筆算の仕方を基に考えればよいことを理解し、それらの計算方法を身に付けることができる。 【思・科・美】 ・数の構成に着目し、2～3位数の加減法の筆算の仕方を活用して3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え、説明し、筆算の仕方を一歩ずつ覚えていくことができる。 【協】 ・3～4位数の加減法の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方や、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	5. 長い長さについて考えよう【長しもの長さのほり方と長さのわり算】 7時間 ・量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さや面積を測定したり、およその見当をつけ計測を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に用いて長さや面積の測定方法を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・長さの単位（キロメートル(km)）や測定の意味を理解し、長さについての具体的な数量をもつとともに、それらを活用して適切な長さや単位で測定したりおよその見当をつけ適切な単位や計測器を選択して測定したりすることができる。 【思・科・美】 ・長さの単位や長さの単位に着目し、長さの測定の仕方や単位の関係について説明している。 【協】 ・長さについての単位や計測器を用いて身の回りのものの長さを測ったり、既習の単位と関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	6. 図や表を整理して調べよう【図や表と調べ】 9時間 ・図や表について、観測データや分類整理するデータについて整理し、表や棒グラフに表したり読み取りやすくすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して表や棒グラフから読み取ったことを考察する力を養い、データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・図や表や棒グラフなどの観測データや分類整理するデータについて整理し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や傾向などの特徴を読み取りやすることができる。 【思・科・美】 ・図や表や棒グラフを整理する観点に着目し、身の回りのことについて表や棒グラフを用いて整理したり、読み取ったことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。 【協】 ・データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について整理したりした過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	7. 数をよく見て筆算で計算しよう【筆算】 2時間 ・2位数どうしの加減法の筆算について理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して筆算による計算の仕方を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・筆算が100の減法の増算や2位数どうしの加減法の筆算で計算することができる。 【思・科・美】 ・数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、筆算による計算の仕方を考え、説明している。 【協】 ・2位数どうしに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	8. わり算を考えよう【あまりのあるわり算】 7時間 ・わりきれない場合の除法や余りについて理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、除法の意味や計算の仕方を具体物や図、式を用いて考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・わりきれない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係をとらえることができる。 【思・科・美】 ・除法の単位に着目し、わりきれない場合とわりきれない場合の除法を統合してとらえ、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。 【協】 ・日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	9. 1000より大きい数を調べよう【大きい数のわり算】 10時間 ・万の単位や1000までの整数について知り、十進位取り記法や桁ごとの関係による筆算（万進法）を基に、大きな数の除法や計算の仕方を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・万の単位や1000までの整数を知り、十進位取り記法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍した数、10でわった数、数や式の増減、大小関係や等号や不等号を用いて筆算で計算してわかる。 【思・科・美】 ・数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて整理して考え、大きな数の大小の比べ方や表方を統合的にとらえ、説明している。 【協】 ・1000までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	10. 大きい数のかけ算のしかたを考えよう【かけ算の筆算(1)】 11時間 ・2位数や3位数のかけ算の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【知・技】 ・数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数のかけ算の筆算について考え、説明している。 【思・科・美】 ・2～3位数のかけ算の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【協】 ・数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数のかけ算の筆算について考え、説明している。		
	11. わり算や分数を考えよう【大きい数のわり算、分数とわり算】 4時間 ・分数で表される数量を適切にとらえ、除法を用いて筆算で計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して筆算による計算の仕方を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・分数で表される数量を適切にとらえ、除法を用いて筆算で計算することができる。 【思・科・美】 ・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【協】 ・分数で表される数量に着目して、分数で表されている数量について、除法を用いて計算することを考え、説明している。 【思】 ・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【思・科・美】 ・身の回りにおける数量やその単位に着目し、長さや面積に着目して測定したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して長さや面積の測定方法を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	12. まるい形を調べよう【円と球】 8時間 ・円や球を構成する要素や性質について理解し、コンパスを用いた作図や長さをはかり取りし、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・円の中心や半径、直径について、円に関して球の直径などを説明し、それらを用いてコンパスで円や球を描き、等しい長さをはかり取りし、図や式で表したりすることができる。 【思・科・美】 ・円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方や円の図のものの図の性質がどのように活用されているかについて考え、説明している。 【協】 ・円や球の図形の作図を基に構成がどのような活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形をもつものに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	13. 数の表し方やくみ調べよう【小数】 11時間 ・小数の意味や表し方について理解し、加減法や乗法の計算を適切に活用して小数の表し方や比較、計算の仕方を理解し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・小数の表し方や比較、乗法の計算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【思・科・美】 ・数の表し方や数のまとまりに着目し、小数の記法は整数の十進位取り記法を拡張したものととらえ、数の大小関係や加減法の計算について考え、説明している。 【協】 ・小数の意味や表し方、加減法の計算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【思・科・美】 ・数や式の増減、大小関係や等号や不等号を用いて筆算で計算してわかる。 【協】 ・数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数のかけ算の筆算について考え、説明している。	
	14. 長さをはかってみよう【長さのたいいとはかり方】 9時間 ・長さの単位や測定について理解し、適切に単位を用いて長さや面積を測定したり、およその見当をつけ計測を適切に選択して測定したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して長さや面積の測定方法を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・長さの単位（メートル(m)）や測定の意味を理解し、長さについての具体的な数量をもつとともに、それらを活用して適切な長さや単位で測定したりおよその見当をつけ適切な単位や計測器を選択して測定したりすることができる。 【思・科・美】 ・長さの単位や長さの単位に着目し、長さの測定の仕方や単位の関係について説明している。 【協】 ・長さについての単位や計測器を用いて身の回りのものの長さを測ったり、既習の単位と関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	15. 分数を使った大きさの表し方調べよう【分数】 10時間 ・分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・分数で表される数量を適切にとらえ、除法を用いて筆算で計算することができる。 【思・科・美】 ・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【協】 ・分数で表される数量に着目して、分数で表されている数量について、除法を用いて計算することを考え、説明している。 【思】 ・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【思・科・美】 ・身の回りにおける数量やその単位に着目し、長さや面積に着目して測定したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して長さや面積の測定方法を考え、表現し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	16. 口を使った筆算を考えよう【口を使った筆算】 3時間 ・未知の数を表す口を用いて数量の関係を表すことについて理解し、図や表を用いて数量の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・未知の数を表す口を用いて数量の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【思・科・美】 ・数量の関係を表す式に未知の数を表す口を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を捉え取り問題場面を考え、口にはあはまる数の関係や数量を求めたりすることができる。 【思・科・美】 ・数量の関係を式や図に表したり、数量の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【協】 ・未知の数を表す口を用いて表すことで、問題場面を式や図に表したり、数量の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	17. かけ算の筆算を考えよう【かけ算の筆算(2)】 10時間 ・2～3位数のかけ算の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【知・技】 ・2～3位数のかけ算の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【思・科・美】 ・数の構成や乗法について成り立つ性質や、既習の2～3位数のかけ算の筆算の仕方を活用して2～3位数のかけ算の筆算の仕方を考え、説明し、筆算の仕方を一歩ずつ覚えていくことができる。 【協】 ・2～3位数のかけ算の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方や、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。		
	18. 数の関係を調べよう【数の関係】 3時間 ・数の関係や数の意味について理解し、比較や計算を適切に活用して数の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・数の関係や数の意味について理解し、比較や計算を適切に活用して数の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【思・科・美】 ・数の関係を式や図に表したり、数量の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【協】 ・未知の数を表す口を用いて表すことで、問題場面を式や図に表したり、数量の関係を整理し、それらを今後の生活や学習に活用しようとしている。	
	19. 三角形を調べよう【三角形と角】 8時間 ・円を用いた作図を通して二等辺三角形や直角三角形の図形や角の大きさについて理解し、図形の性質や角の大きさに着目し、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・二等辺三角形や直角三角形の図形や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の性質や、作図の技能を身に付けていくことができる。 【思・科・美】 ・図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や直角三角形の性質や角の大きさに着目し、それらの作図の仕方について考え、説明している。 【協】 ・図の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りにおける図形や角の大きさに着目し、それらの図形や角の大きさに着目し、それらの作図の仕方について考え、説明している。 【協】 ・図の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りにおける図形や角の大きさに着目し、それらの図形や角の大きさに着目し、それらの作図の仕方について考え、説明している。	

	A 十分満足できる テスト95点以上	B おおむね満足できる テスト85点以上	評価方法 テスト ノート 発表 発言等
【知・技】	数量・図形について深く理解し、計算や測定、図形の技能を十分に身に付けている。	数量・図形について理解し、計算や作図の技能を身に付けている。	テスト ノート 発表 発言等
【思・判・表】	数量・図形などの問題について、見通しをもって既習事項をもとに筋道を立てて考え、目的に合った方法で表現している。	数量・図形などの問題について、筋道を立てて考え、目的に合った方法で表現している。	テスト ノート 発表 発言等
【語】	算数の活動を楽しみ、よりよい方法を多面的に探究し、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	算数の活動を楽しみ、よい方法を積極的に活用し、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	ノート 発言 発表等

月	単元名・教科名・時数・指導目標	評価標準	
4月	1. 1億より大きい数を調べよう 【大きい数のしくみ】 7時間 ・億や兆の単位について知り、十進位取り記数法と4桁取切りによる命数法（万進法）に基づき大きな数の読みかたや計算の仕方考えるときに、整数の表し方に関わる数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・億や兆の単位を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍/1/10にした数、繰り上がり/下り数の整数の乗法計算をすることができる。 【思・判・表】 ・整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた数の仕組みについて理解し、数学のよさに気づき、数学のよさを比べたり表し方を統合的にとらえ説明している。 【語】 ・億や兆の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。 【知・技】 ・折れ線グラフの特徴や使い方、データを二次元表で分類整理することを理解し、それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。 【思・判・表】 ・データを目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択したり、そのよさを説明している。 【語】 ・問題解決の過程やデータを分類整理した結果、折れ線グラフで表した過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	2. グラフや表を使って考えよう 【折れ線グラフと表】 9時間 ・折れ線グラフの特徴や使い方、分類整理の方法について理解し、それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり読み取ったりするとともに、数学的表現を適切に活用してデータの傾向や変化を読み、問題解決のためのグラフを選択し判断することを通じ、結論について考察する力を養い、データを折れ線グラフに表し、問題解決のための情報を読み取り、考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・折れ線グラフの特徴や使い方、データを二次元表で分類整理することを理解し、それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。 【思・判・表】 ・データを目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択したり、そのよさを説明している。 【語】 ・問題解決の過程やデータを分類整理した結果、折れ線グラフで表した過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	3. わり算のしかたを考えよう 【わり算の筆算（1）- 一桁の数で割る】 11時間 ・2・3桁数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用してわり算のしくみや計算の過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・既習の乗法九九を1回用いて商を求め、計算及び単位数2桁数を1桁数でわる計算の方法を活用し、2桁数を1桁数でわる計算をすることができる。 【思・判・表】 ・数の見方や構成に着目し、計算の仕方考え、説明している。 【語】 ・2桁数-1桁数の除法の計算方法を、既習の基本的な計算を基に考えたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	4. 角の大きさの表し方を調べよう 【角の大きさ】 9時間 ・角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや関係について考察する力を養い、角を測定した結果を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・角の大きさを図紙の大きさとしてとらえることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位（度）や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくらなければならない。 【思・判・表】 ・図紙の角の大きさに着目し、角の大きさや三角形の角の関係を説明している。 【語】 ・分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的表現を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	5. 小数のしくみを調べよう 【小数のしくみ】 13時間 ・小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算をすることができるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の仕組みや計算の過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・1/100の位、1/1000の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。 【思・判・表】 ・1/10未満の数の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の構造的な大きさについて考え、説明している。 【語】 ・1/10未満の数の表し方及び加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさや整数や小数の仕組みと関連づけて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	6. わり算の筆算を考えよう 【わり算の筆算（2）- 二桁の数で割る】 14時間 ・2・3桁数を2位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算を工夫したり計算の過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・既習の除法の筆算の仕方や数とまりを用いて2桁数を2桁数でわる除法の計算をすることができる。 【思・判・表】 ・数の関係に着目して、2・3桁数を2桁数でわる除法の計算の仕方考え、説明している。 【語】 ・2桁数-2桁数の除法の計算方法を、既習の除法の計算を基に考えたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	7. 数の見方 4時間 ・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることについて理解し、異なる場合について割合を求めることができるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用して2つの数量の比の関係を比べたり考えたり、割合を用いて比べた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・異なる場合についての割合を活用して、ある2つの数量の関係を別の2つの数量の関係を比べることができる。 【思・判・表】 ・異なる場合における数量の割合に着目し、ある2つの数量の関係を別の2つの数量の割合について割合を用いて考え、説明している。 【語】 ・異なる場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて取り組む考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	8. およその数の表し方と使い方を調べよう 【おおよその表し方と使い方】 8時間 ・概数について理解し、概数を用いた四捨五入や四則計算の結果の見積りもできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して目的に合った数の簡便な表し方を考えたり、概数を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・概数の用いられる目的や四則計算の見積りも目的に応じて用いることができる。 【思・判・表】 ・日常の事象における場面において、数の簡便な表し方に着目し、目的に応じて数を選択するよさを説明している。 【語】 ・日常の事象において、目的に応じて数を選択したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	9. 計算のやりかたを調べよう 【計算のきまり】 8時間 ・計算の順序に関するきまりを理解し、四則に關して成り立つ性質やきまりについて理解を深められるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算の過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・四則の混合した式や（ ）を用いた式の計算の順序を理解し、四則に關して成り立つ性質やきまりを用いて、計算の仕方考え、説明している。 【思・判・表】 ・四則の混合した式や（ ）を用いた式の表し方について、理解を深めたり表現したり、一般的に表現したりすることについて考え、説明している。 【語】 ・（ ）を用いて7つの式に表すと、数量の関係を簡便に表すことができるよさを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	10. 直線の交わり方やならび方に注目して調べよう 【直線、平行と四角形】 13時間 ・直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成について考えたり考察したり、図形の性質を考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・直線の垂直や平行の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形の特徴について説明することができる。 【思・判・表】 ・辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見いだして表現したり、様々な四角形と対角線の特徴を整理して考え、説明したりしている。 【語】 ・身の回りから直線の垂直や平行の関係を、様々な四角形を見いだすことで学習内容を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	11. 分数をくわくく調べよう 【分数】 9時間 ・分数について理解を深め、同分母分数の加法及び減法の計算ができるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用して分数を構成する単位分数について考えたり考察したり、分数とその加法及び減法の計算方法について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1より大きい分数を假分数や帯分数で表したり、異なる場合について異分母分数や帯分数で表したりすることができる。 【思・判・表】 ・数を構成する単位分数に着目し、同分母分数や異分母分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。 【語】 ・1より大きい分数を假分数や帯分数で表すことよきや、分数を単位分数の積で表すことよきや、加法及び減法の計算方法を考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	12. 変わり方に注目して調べよう 【変わり方調べ】 4時間 ・伴って変わる2つの数量について、表を用いて調べたり式に表したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して2つの数量の変化の特徴について考えたり考察したり、2つの数量の変化について考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・伴って変わる2つの数量の関係を、表を用いて変化の傾向を調べたり、口や〇などを用いて式で表したりすることができる。 【思・判・表】 ・伴って変わる2つの数量の割合に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。 【語】 ・具体的に問題解決に取り組むとともに、2つの数量の関係を表で調べることよきや、関係を表や口や〇などを用いた式に簡便に表すことよきを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	13. 広さのくらべ方と表し方を考えよう 【面積のくらべ方と表し方】 2時間 ・面積に関する単位について理解し、正方形や長方形の面積を計算して求められるよりにするとともに、数学的表現を適切に活用して面積の求め方や面積の単位と既習の面積との関係について考えたり考察したり、標準となる面積の単位を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・面積の標準単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることよきや、面積の単位換算の関係を整理するとともに、面積についての量算も身に付けている。 【思・判・表】 ・身の周りの学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことよきや、面積の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。 【語】 ・面積を数値化して表すことよきや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	14. 小数のかけ算とわり算を考えよう 【小数のかけ算とわり算】 15時間 ・乗算や除算が小数の場合の乗算計算の仕方について理解し、筆算を用いて計算できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算の仕方や小数倍について考えたり考察したり、既習の計算方法や乗算の学習を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・既習の乗算計算の仕方や小数・整数、小数・整数、整数・整数と求めたり、小数倍の学習を基に小数倍を求めたりすることができる。 【思・判・表】 ・数の構成に着目し、小数・整数、小数・整数、整数・整数で商が小数になる場合の計算の仕方や既習の乗算計算の仕方や表し方、小数倍の意味や整数倍の意味に着目してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	
	15. 図の形の特徴を調べよう 【立方体と立方体】 9時間 ・立方体や立方体における直線や平面の関係について理解し、説明できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、立体図形の特徴や性質について考えたり考察したり、立方体や立方体の構成要素に着目し、考察したことを振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知・技】 ・立方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取り図を切り取り、位置を説明したりすることができる。 【思・判・表】 ・立体図形の構成要素や位置関係に着目して、特徴や性質を考察したり、立方体や立方体の構成要素や位置関係に着目して、立方体や立方体の位置の表し方を考察したりしている。 【語】 ・立体図形について、構成要素や位置関係に着目してとらえたりすることを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて取り組む考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとした。	

